

進路だより

福島県立猪苗代支援学校
進路指導部
令和7年7月18日

猪苗代地域は、本格的な夏を前に少しずつ暑い時期となり、1学期も本日で終了となります。保護者の皆様におかれましては、お子様の将来のために進路に関するご相談や進路セミナーへご参加いただきありがとうございました。

さて、今回の進路だよりでは、これまで開催された進路行事についてのご報告をさせていただきます。お子様の進路を考える上での参考にしていただければ幸いです。

進路行事の紹介

進路学習会

進路学習会では、令和6年度に卒業した星野聖人さん、青木大輝さんに講師として来校してもらい、仕事をする上での心構えなどを話してもらいました。企業で働く聖人さんは、働いている中で分からないことはすぐに相談することが大切である。と話してくれました。就労に向けて訓練をしている大輝さんは、あいさつは働くために一番大切です。と教えてくれました。進路に対する意識を高めることができたとても充実した時間になりました。



進路セミナー

進路セミナーでは、猪苗代町内にある司法書士法人あい事務所の長谷川正樹様(司法書士)に講演をしていただきました。今回は、「成年後見制度」について説明していただきました。社会に出た後に受けることができるこの制度は、意外と知られておりません。今回の話を聴くことで今から将来に向けて準備できることを考えるきっかけとなりました。この他にもさまざまなサービスや制度があります。今後も情報提供していければと思います。



校内での実習(中学部)

中学部の校内実習では、「ダイソー商品の包装作業」を行いました。プラスチックカップを4個組みにし、台紙をはさんで包装しました。初めての作業内容でしたが粘り強く取り組み、少しずつコツをつかんで、「できた」という達成感を感じていました。また、「ペットボトルリサイクル作業」などにも取り組んだ生徒もいました。

中学部3年生は高等部の校内実習の見学を行いました。報告の仕方など見習うべきことをそれぞれの生徒が見つけ、実習に生かそうとしていました。



校内での実習(高等部)

高等部の校内実習では、「柏屋の箱折り作業」や「美蕎麦菜 三城の割り箸の袋入れ」、「ペットボトルのリサイクル活動」を行いました。

箱折りの作業は、上箱、下箱合わせて8000個の材料、割り箸の袋入れは、5000本の材料を仕上げました。ペットボトルのリサイクル活動は、45ℓの袋に入ったペットボトルを約20袋分の材料のラベルをはがしやペットボトルつぶしの活動に取り組みました。

生徒一人一人に合った作業を提案し、集中して最後まで働く力やあいさつ、返事、報告の仕方を身に付けるために2週間頑張った校内実習に取り組みました。

シーアールエスコポレーション



ヨークベニマル



校外での実習(高等部)

6月2日(月)~6月13日(金)の10日間、前期産業現場等における実習を実施しました。9名の生徒が校外での実習に取り組み、普段の学校生活で学んだことを生かし、自分の適性や働く力を身に付けるために実施しています。

初めて行く場所、初めて触れ合う人と行動をとることで、気持ちが不安定になることもあります。実習では、失敗というものはなく、必ず得られるものがあります。実習で経験したことを学校生活や家庭で振り返りを通して、成長につなげていきましょう。

既に後期の実習に向けた「準備」は始まっています。

御協力いただいた実習先等について

<就労継続支援B型事業所>

有限会社シークエンス さぎそうの家
社会福祉法人啓和会 Mamiyaプリムローズ
ドリームハウス富夢富夢
共働作業所ピーターパン

<企業>

ヨークベニマル大槻店
株式会社シーアールエスコポレーション
株式会社 会津工場

<生活介護事業所>

社会福祉法人啓和会 Mamiyaつどいの家

<校内実習 材料提供>

株式会社東洋特殊印刷
株式会社ダブルオー・コーポレーション
美蕎麦菜 三城

高等部の保護者の皆様へ



お子様の進路について、考えてほしいことがあります。

3年生の保護者の皆様には、夏休みの期間を利用して進路相談会を行います。1、2年生の保護者の皆様には、9月の個別懇談期間の時に進路に関する相談を行います。

その際、前期の現場実習の様子を振り返るとともに、お子様の現在の働く力、生活する力について共有を図ります。つきましては、保護者の皆様には、後期の実習に向けて、お子様にどこで実習を行わせたいか、どんな仕事に取り組んでほしいのか、お子様と相談しながら考えてみてください。お悩みの場合は、事前にその旨を担任にお伝えいただけると幸いです。